

地域の子は地域で育てる

～地域のネットワークを通して～

【阿武町 阿武中学校区】

地域の概要

阿武町は山口県北部に位置し、奈古地区、福賀地区、宇田郷地区で構成されています。阿武中学校区に属する奈古地区と宇田郷地区には、北長門国定公園に指定された海岸があり、海の幸に恵まれた地域です。

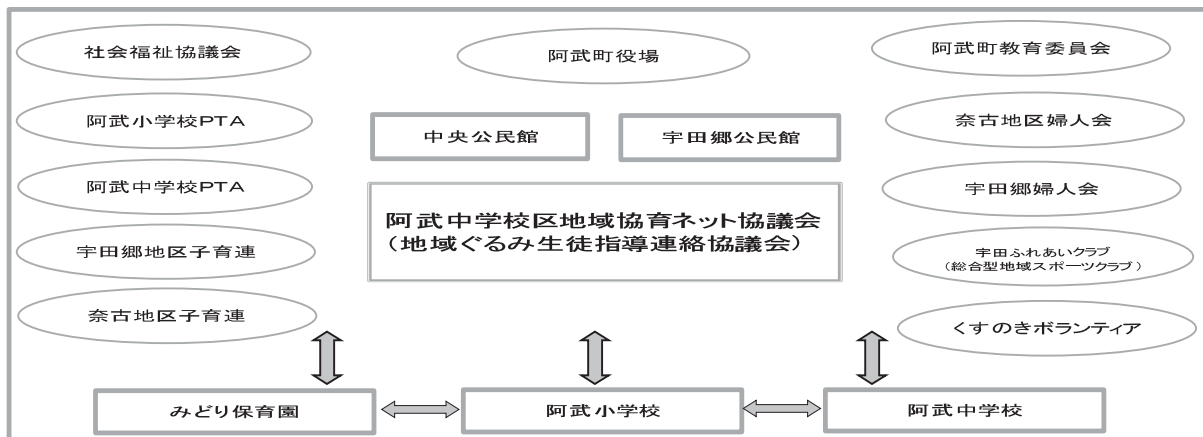
保護者だけでなく、地域の方の教育に対する意識は高く、積極的に学校とかかわりをもつことで、地域が一体となって児童生徒を育てています。

人口	2,983人	
世帯数	1,380世帯	
対象校・園 及び園児 児童生徒数	阿武中学校	51人
	阿武小学校	107人
	みどり保育園	82人

組織の内容

阿武中学校区の地域協育ネット協議会では、「めざす子ども像」や長期休暇の過ごし方、学校での活動の様子、日常生活での心配な点等話し合い、対応策を考えています。また、小・中学校におけるゲストティーチャーや地域ボランティアなどの情報交換をして、「地域の子は地域で育てる」という目標を達成できるようにしています。

小・中学校でボランティアが必要な際には、各学校から地域へ要請を行っています。また、必要に応じて中心コーディネーターである中央公民館長を通して地域へ呼びかけ、ボランティアの要請も行うようにしています。



特色・重点的な取組

- 【阿武小】・読み聞かせボランティア
- 【阿武中】・学校から地域へ恩返し（清掃活動）
- 【阿武小・中合同】・地域と連携した避難訓練（地震・火災・津波を想定）



6年生による読み聞かせ



福祉ボランティアグループによる清掃活動

主な取組の紹介

【阿武小学校】読み聞かせボランティア

平成16年から行われている「絵本の読み聞かせ」活動。当初はPTA役員をはじめとする有志で行っていた活動も、昨年度からは「くすのきボランティア」にPTAの全家庭が登録して行うことになりました。年間延べ140人のボランティアが参加しました。今年度は長年の活動が評価され「山口県子ども読書活動団体表彰」を受賞しました。

保護者の方から「『何かしてあげよう』というあたたかい気持ちを将来につなげてくれたらと思います」という感想をいただきました。その思いも伝わり、6月の読書週間では、6年生の児童も読み聞かせに挑戦し、「大人になったら読み聞かせをしたい」と思う児童も増えたようです。



読み聞かせボランティア

【阿武小・中学校合同】地域と連携した避難訓練

11月、地震・火災・津波を想定した、小・中学校合同での避難訓練を実施しました。役場の防災担当の方に来ていただき、緊急避難場所の確認など、日頃からの防災意識の大切さについて教わりました。子どもたちは各自で地震に対する安全確保の方法を考えるとともに、安全に避難するための約束を守りながら避難している様子が見られました。

感想の中に「いつ、どんな状況で地震などの災害が発生するか分からないので、日頃から訓練が大切だと感じた」などがありました。



小・中合同避難訓練

【阿武中学校】学校から地域へ恩返し（清掃活動について）

6月には、清ヶ浜の清掃活動を全校生徒で行いました。子どもたちは、この活動を通して地域の環境を守る大切さと、ボランティア活動による充実感を味わうことができました。また、11月には福祉ボランティアグループによる奈古駅周辺の清掃や除草を行いました。子どもたちはこの活動を通して、公共施設を大切に使うことと地域に貢献できた喜びを感じることができたようです。



清ヶ浜の清掃作業

成果と課題

【阿武小学校、阿武中学校より】

夏季休業中や読書週間における児童の読書冊数が増加するなど、読書習慣の定着が図られつつあり、読み聞かせボランティアによる活動の成果が現れているように思います。今後は、図書室を保護者へ開放するなどの積極的な環境整備や、読み聞かせの場を「学校」から「家庭」へ広げられるよう、保護者への啓発活動を図っていきたいと思います。

小・中合同避難訓練は、役場の方との協力により地震発生時の安全確保とその後の一次避難、続いて津波警報による二次避難、さらに緊急時の保護者への引渡し等、多くの条件設定で訓練を実施することができました。中学校のボランティア活動については、更に活動の範囲を広げて地域へ恩返しをしていきたいと思います。

学校と地域との連携を深め、それぞれの取組をより充実させていくことが、今後の課題です。

今後の取組

来年度から阿武中学校区では、コミュニティ・スクールが導入されます。今後、小・中学校それぞれの学校運営協議会と地域協育ネット協議会が連携できるように、「熟議」等の研修会を開き、取組を充実させていきたいと思います。